

## 負け癖をやめて、勝ち癖に変えよ！くせは直る！

「負け癖のある人」がいます。負け癖とは物事を達成しない癖で、達成しなくて当たり前、未達成であることに気づかない、達成しなかったことを忘れる、これらが主な症状です。癖なので自分では気づきにくいのが特徴でもあります。

あとでしょう、このへんでいいわ、てきとうにやっそこ、時間に遅れる、そこまでできん、言い訳をいう、これらの行動をとります。達成しない、しなくてよいという考えは楽なのです。そのうえ「がんばったからいいじゃないか」「努力してできなかったんだから仕方ないさ」などの言葉は、負け癖を助長し、さも良しとする認識をもつと、その「負け癖」は自分だけにとどまらずに周りに伝染してゆきます。それが組織なら、組織全体が腐り始めるでしょう。

「電車が遅れたので遅刻しました」と報告する。そこで、とがめられない組織は、腐り始めているかもしれません。言った本人は「遅れた電車が悪い」と言うのでしょうか。しかし実際は間に合うように、常日頃からの準備をしていなかった、自分のせいなのです。電車のせいにして自分を正当化しようとしているのです。時間通りに出勤するという目標を達成していないにもかかわらず、交通機関のせいにはしています。負け癖人のいつものパターンです。目標意識が無いのです。

そんな人も、絶対遅れてはならないような時には早めに出ているはずですが。受験、結婚式参列、その他もろもろ、まさか、こんな時でも遅れるのでしょうか？仕事の出社に価値はないのでしょうか？

勝ち癖のある人は、必ず目標を達成します。

達成しないと、やらないと気が済まないのです。多少苦しかろうが、無理をしようが、実現しようと努力します。それは「達成しないと怒られるから」という周囲からの圧力で、やるものではありません。自分自身がそうなのです。自ら、目標を立て、達成に向けて頑張るのです。そして達成するまであきらめません。その人の常に言う言葉は、「できる、必ずやる、断固として、自身がある、信じている、よい結果を期待する」というもので「私が、私が」と独りよがりではなく、「あなたと一緒に」と周りまで巻き込んでいきます。

あなたはどうか？負け癖が多いですか？勝ち癖が多いですか？

くせは直ります。少し難しいですが直ります。直すために勝ち癖の人の言葉を使いましょう。あなたの周りに「負け癖」の人が居たら言ってあげましょう。「〇〇さん、その負け癖は損ですよ！」

大阪府製麺商工業協同組合 理事長 太田年明

## 全麺連より

全麺連より多くの書類案内等が届いています。  
お気軽に、事務局にお越しご覧下さい。

- 「鍋とコミュニケーションに関する意識調査」  
『ラーメン鍋』を鍋料理ジャンルで確立図ろう
- 一番好きな麺類は？  
働く若い女性にアンケート調査
- 23年の国内パスタ供給量  
29万4312トン、7.0%増
- 平成23年そばの国内生産  
作付面積及び収穫量増加
- 香川県観光協会が「うどん県バッジ」販売  
“うどん県章”をデザインしたバッジを販売
- さぬきうどんが恋の成就に一役!?  
バレンタイン、パーティ、ブライダルにも…  
紅白の半生うどん『LOVE UDON』販売

## 理事会報告

1月18日(水曜)

午後3時～5時 事務局に於いて

出席理事	8名・委任状4名 欠席 1名
出席者	監事、相談役、事務局 計10名
組合員の動向	組合員 57社 賛助会員 58社

■ 開会挨拶 理事長 太田年明

■ 報告事項

- 1・新年会収支報告の件
- 2・麺類組合新年会の件
- 3・全国麺連合会、理事長会の件
- 4・祭壇老朽化 山田理事手作り補修報告

■ 上程議案事項

- 1・稲荷祭開催の件 可決
- 2・ // なおらい式次第 可決
- 3・新年度事業計画計画 研修・情報PRの件  
2月23日弥生会館にて  
「食のトレンドと麺業界」 可決
- 4・3月8日全青近畿ブロック ボーリング大会  
弁天町 ポールインクス 可決
- 5・2階、4階、6階のトイレの改修工事の件 可決
- 6・会館改修工事の件 継続審議中





## 坂野食品

河内支部

### 代表 坂野 邦継

■玄関にデンと置かれていたのはトライアンフ。見事に整備されたクラシックカーである。5年前に購入し、3年かけて乗れるように修理、今は京都くらいまでなら走れると言うから驚きだ。この前はポルシェ 356 に乗ったが、レプリカを買わされたので1年で売却、どうしても本物がほしくなったとのこと。解るかな？ 356 といえばジェームズディーンが乗っていた車で有名なのです。



■麺屋をやっているのって嬉しいことってあんまりないけど自由に時間がとれ商売ができるのが良いね。先代が食っていけるだけの得意先を残してくれたのありがたいことだ。感謝している。でも苦しかったことがあった。甲子園球場内の食堂経営会社が倒産した時だ。売掛は溜り、手形になり、応援した追い金までやられたこと。先代のゴルフ会員権はじめ、売れるものは全部売ってしのいだよ。その時から私が経営を担当するようになった。



■家族でやっているのってなんかいけている。中途半端に大きくなるのがダメだと思う。お客様からの様々な要望を聞き作っている。老人ホームの方からは「腰はいらんから、やらかいうどんがほしい」と言われる。80 グラムのうどんも作っている。嫌がらず作ることがお客様に支持されることだ。

■息子が頑張ってくれて助かっている。36 才になった。これからの目標としては、うまくパトタッチしたい。そうなれば家内とも1週間の旅行も行ってみたい。この商売、旅行に行けないのが困るね。

■趣味は、サーフィンと車。55 才まではウエットを着て冬でも乗ったよ。どこで波乗りするかって？ そりゃ鳥取だよ。日本海の波はまったりしていて、なにより空いているのが良いんだよ。



## 大惣商店

淀川支部

### 代表 東坂 英男

■鴻池新田駅を降りたら眼前に大惣商店のテントが見える。入り口には「氷」の文字と氷を斬る大きなカッターが見える。製麺業では「氷」も取り扱った業者も多いたが今は珍しくなった。ガラスのショーケースにはセイロ盛りのうどんが置かれていて、昔ながらのおいしいうどんを頑固なまでに続けられてきた心意気がみえる。

■駅前というのに騒がしさがなく、落ち着いた感じがする。一步入れば静かで閑静な住宅街となる。いくつもある駐車場はどれも安い。鴻池家の恩恵なのであろうか？ 片町で終点だった電車も今は東西線に伸びている。反対方向には奈良、京都に行ける。とても便利な所だ。東坂さんご夫妻が、この地を喜ばれていたのが解る気がする。



■ご夫妻といえば、ご主人東坂英男さんは永年組合の支部長を務められ、奥様も何度も組合行事に参加されているので、大阪の麺組合ではだれよりも良く知られたおしどり夫婦である。お元気で毎日の製造にも携わっておられ、今日のインタビューでも色々アドバイスを頂いたありがたい大先輩であります。

■写真のお孫さんは2年前生まれた長男に待望の男の子である。実に13年かかって授かった初の内孫である。長女に3人、次女に3人を含め、7人のお孫さんがいて楽しみであり、今年に一番上が高卒する。

■商売はだんだん先細りしてくる一方で辛いね。ただセイロ盛りのほだか麺で通しているの、わざわざ買いに来てくれるお客様がいて嬉しい。氷もインターネットで探して、買いに来られる。家庭では使用しないが、イベントや祭りで使われる。特に盆踊り時には忙しい。氷の仕入れは引き取りに行く。1本の重さは32貫目。実に重い。

■奥様とは同級生、だから共に古希を迎えた。中学生から一緒だから、もう何年になるのか？ いつまで元気で頑張れるか？ 今は昔のように飲み歩くこともないが、365 日お酒は切らさない。特に運動するわけでもないが、健康だ。組合の総会には行くようにするよ。





# 今月ご紹介の賛助研修会員様

賛助研修会員の企業紹介ページです。

天婦羅は、「ゴルフボールを打ち上げた」や「偽造ナンバープレート」の隠語として、あまり良いイメージで使われていない場合があります。しかし食べ物としての天婦羅は、うどんやご飯ととても相性がいいですよね。そもそも天婦羅は、どこからどのように伝わったのでしょうか？

ほんの少しですが、天婦羅の歴史をご紹介します。

天婦羅は17世紀末にポルトガルより伝来した料理ですが、我が国でもすでに奈良・平安時代に米粉で作られた天婦羅のような料理が存在したようです。後に江戸の町で屋台として流行し、大阪には明治時代に伝わりました。

さて、永田食品の歴史は、40年ほど前に吉野商店二代目「章次」が義父に「うどんと相性の良い天婦羅を作ってほしい」と持ちかけたのが始まりでした。当初は、義父の家の倉庫で手揚げから始めました。2、3年したころ高度成長期も相まって、手揚げのままでは追いつかず場所を移転、半自動フライヤーを導入しました。2年後、さらにフライヤーを2台導入し現在も当時の製法にこだわりながら改良を重ね、お客様に喜んでいただける商品を提供するべく日々努力しております。

40数年の歩みとともに、これからも天婦羅をさらに美味しく、安心安全なものにするため、より一層商品開発に励んでまいります。



半自動フライヤー導入時より  
ご愛顧を頂いている「丸天ぷら」



2011年末より販売開始しました『しょうがキザミ天ぷら』出汁の美味しさを邪魔せず、体温まる天ぷらです。ほんのリピンク色なので、年末年始、春の商品にもお勧めです。



## 有限会社 永田食品

〒560-0042  
大阪府豊中市石橋麻田町4-11

電話 072-761-8477  
FAX 072-762-5563

<http://www.tenpura.co.jp/>

代表取締役 原 誠二



本社・工場



大阪支店

## 福島鯉株式会社

かつお削りぶしHACCP認定対応工場

### 『最高の材料を産地から直接仕入れ』

豊かな味の文化に貢献することを社業とする当社にとって、より上質な原材料の仕入れは、いわばビジネスの基本です。厳寒の北海から黒潮の漁場まで、産地において素材の良さを極めることから、私たちの製品づくりはスタートします。

現在、当社では、厳選した産地生産者との契約によって独自の仕入れルートを確認。

主力商品である鯉節、目近節、さば節、うるめ節、利尻昆布等、選りすぐった原材料を直接仕入れ。そのなかから各種製品や製法に最適な原材料だけを選別し、製品づくりに使用しています。

### 『味の伝統、ニーズに応える「うま味づくり」』

関西の伝統を守り、関西風味のだし削鯉節を中心に味の文化を支えてきた当社は、同時に、各地域やラーメン店などのニーズに応える「うま味づくり」にも力を入れております。

東日本・中部・関西・四国・九州と、それぞれの味の文化圏に対応した製品づくりを実現し、現在、全国に約 6,000 店以上におよぶ取引先に向け多彩な商品を提供しています。

### ■ 会社概要

創 業 大正11年3月

設 立 昭和25年6月

代 表 者 代表取締役社長 宇田 弘

事業内容 削鯉節製造卸売および関連商品食品卸売

事 業 所 本社・工場/〒604-0824 京都市中京区堺町通御池上ル原町661  
TEL 075-211-2940【代】 FAX 075-211-0343

大阪支店/〒534-0015 大阪市都島区善源寺町1-9-6  
TEL 06-6923-2940【代】 FAX 06-6923-1441

金沢支店/〒920-0363 金沢市古府町南451-6  
TEL 076-240-2940【代】 FAX 076-240-2993

東京営業所/〒164-0011 東京都中野区中央5丁目23-11  
第2丹沢ビル2階

TEL 03-3380-2940【代】 FAX 03-3384-1941

URL <http://www.fukusima-k.co.jp/>

### ■ 沿革

大正11年 初代福島明一郎、翌年二代目福島龍助が瀬戸内海の一小島から上京し、京都市中京区堺町竹屋町の地で創業、福島京都店と名付ける。

昭和25年 法人組織に改組、資本金100万円、社員18名で発足、営業所を中京区高倉御池に定める。

昭和37年 営業所を中京区堺町御池（現所在地）に定める。

昭和41年 株式会社福島京都店より現在の福島鯉株式会社に社名変更、大阪支店開設。

このページは、賛助研修会員さまのご紹介ページです。掲載は、研修担当理事よりお願い申し上げますが、会員さまよりの要望も承りますので、ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

また案内パンフ等も同封して、組合員様に送りますので、60部ほどをご用意いただければ幸いです。



# 情報アラカルト

<自ら相談を投げかける、意見を聞く、新しい何かが始まる！>

## 新年互礼会



平成 24 年 1 月 12 日 木曜日 午後 4 時 30 分より ANA クラウンプラザホテル大阪において、大阪府製麺商工業協同組合の新年会がとり行われました。

組合員 23 名、賛助会員 35 名の参加で、末吉専務の司会、秋永副理事長の開会挨拶、太田理事長の年頭の挨拶に続き、大阪府麺類食堂業生活衛生同業組合より池田理事長、社団法人大阪食品衛生協会 五島常務理事、日清製粉 小谷大阪営業部長の挨拶と大阪府小麦粉卸商業協同組合 乾副理事長の乾杯のご発声で宴席が始まりました。

また、城北支部の鳥内さんが監督を務める関学アメリカンフットボール部が、全国大会で準優勝されましたのでお祝いをさせていただきました。

参加の組合員 1 万円、賛助会員 2 万円の会費収入で、ANA に支払い、組合の負担は 17,772 円でありました。

## 稲荷祭、なおらい



平成 24 年 2 月 15 日 午後 3 時より 組合会館屋上にて稲荷祭りを行いました。当日は曇り空、毎年寒いなかですが、多くの参列をいただき無事終了いたしました。ビルのテナントの方も参加をいただきました。鳥居がきれいなのは山田常務理事による、補修工事のおかげです。感謝！

組合員ならびに賛助研修会員は常に増強補充中です。  
ともに助け合い、情報の共有を進め、麺の普及に努めましょう。  
皆様方のご発展に組合は協力をおしませぬ。  
加入は事務局までご連絡ください。

### 大阪府製麺商工業協同組合

事務局 柳 美千子

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1 丁目 12 番 14 号

電話 06-6532-1715 FAX 06-6532-1719

Email seimen@titan.ocn.ne.jp

掲載誤り等は事務局まで連絡ください